

# 教育だより

## 平成二十四年度のスタートにあたって

教育長 山本 泰光

全ての児童・生徒が「今年こそは・・・」と気持ちも新たに始業式の朝を迎えています。平成二十四年度がスタートしました。入学・進学はこの時期は、子どもの成長を促す大切な時でもあります。

今年度から小学校に続き中学校も学習指導要領が全面実施となり、教科書も一新されました。全学年とも学ぶ量も増え、授業時数も多くなります。学校は、授業改善に向けて授業力・学力の向上が求められます。

昨年度は、《国東市協育ネットワーク》を立ち上げました。保護者をはじめ地域の皆様方には、多大なるご支援をいただき感謝を申し上げます。



これまでもそうであったように、今年度もいっそう地域と学校が「協働して子どもを育くむ活動」

「協育」を大切にしていきます。

そのためにも各学校から地域への情報提供を教育だより（市報）や学校のホームページ等で数多く発信して、情報を共有する努力を重ねていきます。

子どもの教育を核とした地域活動の輪が広がり、教育の里づくりがより確かなものとなるように、ご理解とご支援をお願い申し上げます。

各学校のホームページは、インターネットで、学校名を入れて検索してください。



## 東日本大震災の教訓

### ―防災教育の推進―

大分県の有識者会議（議長 竹村恵二・京都大学教授）は、別府湾での活断層型地震が起きた場合、短時間（三分〜四分）で国東市沿岸に津波の第一波が到達する恐れがあると発表しました。

東日本大震災から一年、教育現場においては、子どもの命を守るために、これまで以上に防災教育に力を入れなければなりません。

各学校（園）では、避難誘導訓練を重ねるとともに、校区の実情や子どもの実態に即した防災計画の見直しを図り、実効性のある対策を講じる必要があります。

今年度は、各学校で策定する「学校安全計画」の中に津波対策を盛り込み防災教育に取り組みます。災害は、いつ起きるか予測できません。授業中だけでなく、昼休み、登下校中などいろいろな場面が想定されます。いっどこで災害に遭っても、自分たちは何をしなければいけないのか、平時からいざというときに備えた防災対応能力を養う教育を、意図的・計画的に繰り返すことに努めます。

また、子どもの命を守るためには学校だけの取り組みでは不十分です。防災活動の内容には、家庭や地域と深く関わっているものが多く、保護者や地域の方々とは連携しながら取り組むことが極めて重要です。

各学校では、三月に避難経路・避難場所の再点検と見直しを行いました。地域の皆様にお知らせし、ご協力をお願いいたします。

### 《津波警報時の避難場所》

学校・園名	避難場所
竹田津幼	宮山
国見中央幼	伊美小学校屋上
熊毛幼	熊毛小3階
富来幼	幼稚園裏の高台
旭日幼	旭日小学校
安岐中央幼	小学校3階
安岐幼	小学校3階
竹田津小	宮山
伊美小	校舎屋上
熊毛小	校舎3階
富来小	幼稚園裏の高台
国東小	校舎3階
小原小	大神宮様
旭日小	校舎
武蔵東小	BG体育館・駐車場
武蔵西小	第2グラウンド
安岐中央小	3階ホール
安岐小	3階ホール
国見中	双国校の体育館
国東中	校舎3階
武蔵中	校舎3階
安岐中	校舎3階